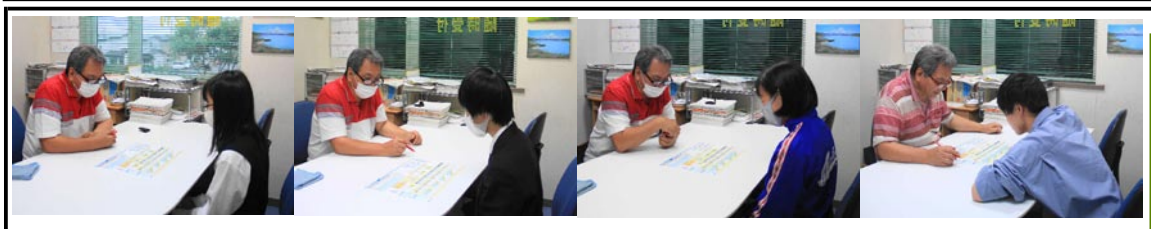
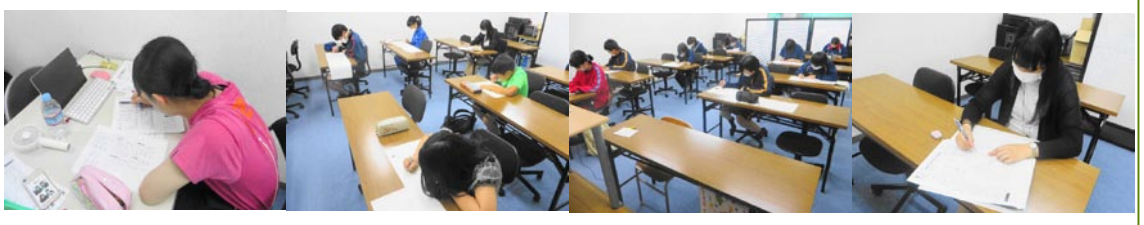
進学通信
ステップゼミナールだより
# ホップ・ステップ
10 October
第168号
2020年10月1日発行



8月の道コン受検は3年生だけでした。個別の面談で志望校の確認と取り組みのアドバイスを。入試まであと153日



漢検対策の勉強中の高校生　9月11日、小学生からお母さんまで漢検対策は十分やりました。結果はもうすぐです。

9月5日は学力A対策の授業を行いました　今年はお盆を過ぎても暑い日が続きました！

高専生はシルバーウィークを挟んでのテスト！

北見看護大の成瀬さん、今回から一人で運転して北見まで。気をつけてね！

8期生で作業療法士の佐々木君、忙しくて大変のようです。困ったことがあるときだけ塾に顔を出します（笑）

差し入れやお土産たくさん頂きました。本当にありがとうございます！

## ピーク時から6万人減 人口減少

住民基本台帳による釧路市の人口は8月末現在16万6232人で、帯広市（16万5730人）との差がわずか502人となり、道内自治体人口ランキング6位への転落は〝秒読み〟に入っている。

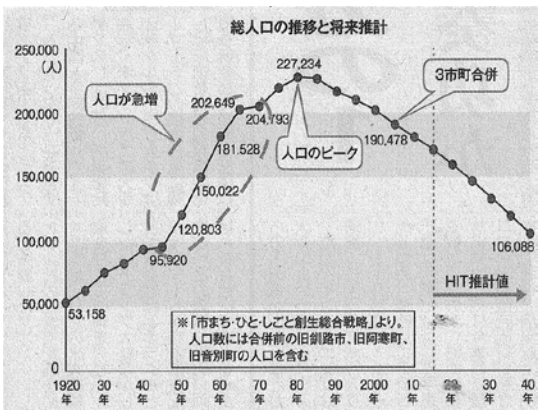
ピーク時から約6万人が減った釧路の人口減少対策は現市政で一定の評価がある一方、さらなる対策を求め声もある。

釧路の人口は、石炭や水産などの資源を生かした発展で戦後大きく増加。一度伸びが純化したが、70年代には好調な水産業や企業進出などで再び増加し、80年には22万7234人とピークを迎えた。

しかし84年以降は、200海里規制による水産資源の減少や炭鉱の閉山など基幹産業の衰退で他地域に人口が流出。転出が転入を上回る社会減が大きくなって人口減に転じ、2000年代に入ると死亡が出生を上回る自然減の状態となるなど現在まで減少が続き、ピーク時から40年間で約6万1000人が減った。

市の統計によると、2000年以降は一時を除き年間で2000人前後が減り、19年には最も多い2278人に達した。

北海道総合研究調査会は2030年の人口が13万3134人、40年には10万6088人になると推計している。




人口減は、地域経済の規模縮小や人材不足による生産力低下などを招き、それによってさらに減少が加速する恐れがあるため、市は15年12日に第1期、20年12月に第2期の「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。持続可能なまちづくりを進めるため「力強い経済基盤を構築して雇用などの創出を図ることで、親になる世代を確保する」を重点に施策を展開。中小企業の稼ぐ力を強化するための市ビジネスサポートセンター（K-Biz）の運営などに取り組んでいる。

これらの施策施苛などにより社会減はここ数年縮小傾向だったが、昨年は逆に拡大する事態に。市は「さまざまな検討を行ったが、理由は分からなかった」としつつ、対策の継続を強調している。

道内人口ランク3位の函館（8月茉現在25万2984人）は、05年以降で年間2000～3000人の社会減が続き、昨年は3640人も減少するなど釧路と同様の悩みを抱える。

一方、釧路を逆転し4位となった苫小牧市（同17万4444人）は11年からの10年間で社会減は4年だけで、残りは転人が転出を上回る社会増の状態。

帯広市は13年以降人口減が続いているものの、人数はここ数年で600～700人ほど。一時期に比べ社会減の人数が減り、特に道外からの転入者が増えている状態だ。

現在の釧路の人口減対策について、市議からは「長期滞在も好調で交流人口の増加につながっている」などとおおむね評価する声が多い。

ただ、周辺の町村が子育て支援策に力を入れる中、子供の数も多い釧路は財源の面から見劣りする部分もあり、一部からは不満も。

「医療費無料化は入院費に限って無償に」や「子育て中の保護者の負担軽減を」などの意見も出ている。限りある財源の中でメリハリのついた施策が求められる。

釧路新聞9・22

全国的な地方都市の人口減の問題は、もう一地方自治体で解決出来るような問題ではなく、地方都市の現状や将来像について考えるのは国の問題です。

記事では「**人口減少対策は現市政で一定の評価がある**」とありますが、将来へ向けての効果は全く見られません。

さらにはコロナ禍による経済への影響やITやAI技術により社会は大きく変化します。

結果としてこのままでは地元から企業がどんどん無くなっていきます。

そこで今出来ることは、地元に有能な人材を確保することです。

新鮮な発想や考えを持つ若者を育てることです。新指導要領に基づき、高校入試も大学入試も大きく変化します。そして、2年後には18歳が成人となります。

今の生徒たちを見ていると挨拶すらちゃんと出来ず、とても対応できる力があるとは思えません。

読解力の問題、発想力の無さ、自主性や自己責任感の欠如はある意味、学力より問題です。

過保護や過干渉、そして建前論で育ってきた多くの子供たちには、これからの大変な時代を生きていくエネルギーなど生れるわけが無いのです。

制服、校則で縛られ管理される釧路の高校生たちからは、街の将来を担うような優秀な人材は育ちません。学校の言う通り、先生の言う通り、親の言う通りでは同じ種類の人間にしかなりません。

自由であることと自己責任はセットです。「自由」からしか新しい発想は生まれません。街は若い人たちのエネルギーで活性化するのです。

少なくとも16万都市一番手校の「湖陵高校」ですが、学力が高いだけでは社会に貢献できないのです。

今すぐにでも制服、校則を廃止し、自主性や自己責任感を持ち、自由な発想で多様な価値観を持つ若者が育つ学校にするべきです。

## ■10月の予定■

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 木 | |
| 2 | 金 | |
| 3 | 土 | |
| 4 | 日 | 休塾 |
| 5 | 月 | ●富原修旅（～8） |
| 6 | 火 | |
| 7 | 水 | |
| 8 | 木 | |
| 9 | 金 | |
| 10 | 土 | ◆学力Bテスト対策 |
| 11 | 日 | 休塾 |
| 12 | 月 | |
| 13 | 火 | ■富原宿研（～14） |
| 14 | 水 | |
| 15 | 木 | ◆学力Bテスト |
| 16 | 金 | |
| 17 | 土 | |
| 18 | 日 | 休塾 |
| 19 | 月 | |
| 20 | 火 | |
| 21 | 水 | ■鳥取宿研（～22） |
| 22 | 木 | |
| 23 | 金 | ■附属3年定期 |
| 24 | 土 | |
| 25 | 日 | 休塾 |
| 26 | 月 | ■美原宿研（～27） |
| 27 | 火 | ■景雲宿研（～28） |
| 28 | 水 | |
| 29 | 木 | |
| 30 | 金 | |
| 31 | 土 | |

美術館でフェルメール展をやっています。大学生以下無料です。ぜひ見て下さい。

一日に一度、R-GROUPの確認をお願いします。

携帯・スマホ持ち込み禁止！

ストップ 過保護・過干渉！

在籍する生徒の所属校
小学校　昭和・愛国
中学校　美原・景雲・鳥取・鳥取西・附属・富原
高　校　湖陵・江南・北陽・東・高専

発行：ステップゼミナール　088-0617　釧路町北都２－２－１　（TEL）0154-36-4170　HP　http://stepsemi.com/　Mail：stepsemi@gmail.com

## 日本の子の幸福度　健康は1位、『精神』はワースト2位

日本の子どもたちは、身体的には健康だが、精神的な幸福度は低い――。こんなデータを、ユニセフ（国連児童基金）が3日に公表した。先進38カ国を比べた調査で、死亡率などが低い一方、今の生活への満足度などが低く、「子どもの幸福度」の総合順位は20位だった。1位はオランダ、2位がデンマーク、3位はノルウェーと、北欧の国が上位を占めた。

調査は、生活の満足度が高いと答えた割合や、自殺率の数値を比較した「精神的幸福度」▽死亡率や、肥満の子ども・若者の割合を比較する「身体的健康」▽読解力や「すぐに友達ができる」と答えた子どもの割合を比較する「スキル」の3項目を、直近の指標から算出（対象は多くが5～19歳）。日本は「身体的健康」で1位となったが、「スキル」が27位、「精神的幸福度」は37位で、ワースト2位だった。例えば、15歳の子どもたちに「今の生活の満足度」を10段階で聞いたところ、「5以下」と答えた割合は、日本は4割近かったのに対し、総合1位のオランダでは約1割だった。

子どもの幸福度に関する調査は、前回は2013年に実施。対象国や指標が異なり単純比較はできないが、当時の順位は31カ国中6位と上位だった。

調査の報告書では、子どもたちの幸福度は公共政策や社会情勢、そして子ども自身や保護者のネットワークに影響されると指摘。現在、新型コロナウイルスの感染拡大によって学校が休校になったり、経済や社会に大きな影響が及んだりすることで、子どもたちが長期的にもマイナスな影響を受けかねないと訴えている。

会見に同席した法政大名誉教授で教育評論家の尾木直樹さんは、日本の子どもたちの精神的幸福度の低さについて、「一斉主義で、競争原理に支えられている学校システムの影響も大きいのでは」と分析。受験勉強など、偏差値によって比べられることなどを通じ、子どもの自己肯定感が下がりかねない現状があると指摘した。　（中井なつみ）朝日新聞DIGITAL　9.3

子どもの幸福度　ランキング

1位　オランダ　2位　デンマーク　3位　ノルウェー　4位　スイス5位　フィンランド　6位　スペイン　7位　フランス　8位　ベルギー　9位　スロベニア　10位　スウェーデン　11位　クロアチア　12位　アイルランド　13位　ルクセンブルク　14位　ドイツ　15位　ハンガリー　16位　オーストリア　17位　ポルトガル　18位　キプロス　19位　イタリア　**20位　日本**　21位　韓国　22位　チェコ　23位　エストニア　24位　アイスランド　25位　ルーマニア　26位　スロバキア　27位　英国　28位　ラトビア　29位　ギリシャ　30位　カナダ　31位　ポーランド　32位　オーストラリア　33位　リトアニア　34位　マルタ　35位　ニュージーランド　36位　米国　37位　ブルガリア　38位　チリ

## 『管理』と『規律』という課題が未解決

竹内和雄・兵庫県立大学環境人間学部准教授

公立小中学校への携帯電話の持ち込み原則禁止は、2008年に大阪府が全国に先駆けて打ち出し、翌2009年に文科省が同様の通知を出しました。しかし、その大阪府で2018年、登校時間帯に大阪北部地震が発生。すぐ安否確認が取れなかったことを問題視した一部保護者から原則を見直すべきだという声が上がりました。

そこで、府の教育庁は2019年3月、持ち込みを一部解禁とするガイドラインを発表しました。持ち込みのみ許可で、校内では使用禁止、各自のカバンで保管……といった内容です。実際の対応はガイドラインをもとに、各自治体、各学校が2019年度に1年かけて決めることになっています。

これに東京都が追随し、2019年6月、都立高では校長、小中学校では区市町村教育委員会の判断に任せるという通知を出しました。文科省も今後の方向性について検討を重ねていることから、全国的にこの流れが広まるのかどうか注目が高まっています。

高度情報化社会の流れもあり、10年もすれば子どもたちが学校に普通にスマホ等を持っていく時代が来ると思います。しかし、現状では時期尚早という意見が多いのが実情です。持ち込みによって発生する「管理」と「規律」という二つの課題が未解決だからです。

まず、スマホを学校に持ち込んだ時の「管理」です。大別すると、「学校保管」か「児童生徒保管」です。

「学校保管」は持ち込んだスマホを学校が預かるものです。ある小学6年のクラスでは、36人中31人の児童が担任教師に預け、担任は自分の机で管理していました。仮にスマホ1台10万円とすると、計310万円分です。担任教師は「最初は2、3人だったので大丈夫だったが、さすがに31人となると盗難や破損が怖い」と話していました。盗難や破損等を考えると金庫等での保管が望ましいでしょうが、学校にはそんな予算はありません。

一般的なのは「児童生徒保管」です。実際、大阪府のガイドラインも児童生徒に管とし、カバンに入れて児童生徒が自分で管理するとしています。しかし、これもまた盗難などリスクを考えると、南京錠等の施錠しかしていない学校もあり、万全ではありません。

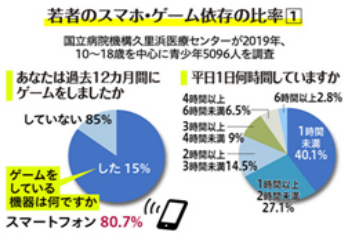
つまり、「管理」では、どちらがいいという結論はまだ出ていません。

次に「規律」の問題です。

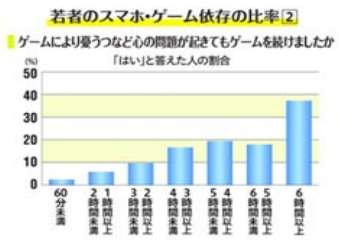
先生がたの一番の懸念は、「規律」つまり生徒指導上の課題です。盗難、盗撮などのトラブルや授業中にこっそり使う懸念が大きいです。

そうした規律違反では、高校だと（最悪の場合）停学や退学等の重い処分を取ることが可能です。しかし、そうした処分等の権限のない小中学校では対応が難しい面があります。

他にも「登下校時の歩きスマホでの事故」など懸念事項はありますが、なにより注意が必要なのは「スマホへの依存」です。




WHO（世界保健機関）が昨年、ゲームのやりすぎで日常生活が困難になる「ゲーム障害」を国際疾病分類（ICD-11）に加えました。スマホはオンラインゲームの端末の一つとして考えられています。「これまで小中学校ではスマホと離れていられたため、学齢期の子たちの深刻化を食い止めている側面がある」と専門家は指摘しています。「そうしたルールも含めて、使い方を教えるのが教育ではないか」という声もありますが、私もそれに賛成です。ただ、教師の側がスマホ文化に十分習熟しているとも言えず、このあたりも大きな課題です。




学校にスマホを持たせることを「（震災など非常時の）命の問題」と思う保護者は多いです。大阪では昨年、小学6年の女児がインターネットで知り合った成人男性に誘拐されました。これも「命の問題」です。

0か100かの結論では無理なことは自明です。子どもは未熟です。日常生活で子どもは失敗を重ねるなかで、少しずつ成長していきます。しかし、インターネットで誤った使い方をすると、犯罪に巻き込まれるなど取り返しがつかないことになりかねません。

一方で、子どもたちはこれから高度情報化社会を生き抜いていかねばなりません。大学生は就職活動で情報収集に自分のスマホを駆使します。使いこなす能力は必須です。

スマホという高度な情報端末について、危険性を子どもがわかる形で提示して、しっかり怖がらせ、そのうえで使い方を一緒に考える。そういう姿勢が必要です。大人の責務として、まずはこの問題の論点を整理し、何をどこまで認めるか、何を認めないか、線引きについて冷静に議論する必要があります。試されているのは私たち大人です。

**ステップゼミナールでは高校生でさえ原則持ち込み禁止（学校帰りは除く）で、もちろん塾内での使用は禁止です。勉強に携帯やスマホは必要がないからです。ましてや中学生に携帯やスマホを持たせることは、メリットよりも学力低下や事件に巻き込まれるなど圧倒的にデメリットの方が大きいのです。中学生に許可するとすれば特別な事情のある生徒だけを対象とし、すべてを自己責任とし、何があっても学校は一切の責任を負わないという取り決めをし、許可することです。**

## 釧路高専の求人倍率45倍に！

**最近送られてきた資料で、なんと求人倍率が45.81%、就職率100%となっていました。つい最近までは20倍くらいの倍率でした。北海道地区高校の倍率が2.65倍という状況の中でです。**

**今後の経済状況や社会の変化により就職難は加速します。全国57校、そのうち北海道には4つの高専があり、すべて受験可能です。大学進学にも有利です。将来技術系に進みたい人や興味のある人は高専を目指しましょう。**

**なお、10月3日、4日にオープンキャンパスがあります。ぜひ一度高専を体験しに！**